

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史

那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階

沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20200313

20期 No.23

《部内資料》

速報 子ども医療費無料化の県庁要請 県知事あてに 1091名のメッセージ届ける

県保健医療部部長「デニー知事の任期内に中学校卒業まで無料化めざし動きます」

3月13日、沖縄県庁保健医療部部長室にて「こどもの医療費無料制度を2021年度までに中学校卒業まで拡充を求める」要請を行いました。

県庁からは、砂川靖(保健医療部長)、金城清光(保健医療総務課長)、金城政弘(保健医療総務課総務班長)、池田みちよ(保健医療部総務課)以上4名が参加

子ども医療費無料制度を広げる県民の会からは、新垣安男(社保協会長 医師)仲里尚実(保険医協会会長 医師)西銘耕史(保険医協会事務局次長)高崎大史(社保協事務局長)中本るみ子、国吉朝子、竹田憲子(新婦人)以上6名が参加しました

「県民の会」から、昨夏以降集めた「個人メッセージ署名」を1091筆提出

山城千秋氏(那覇市医師会会長)中田安彦氏(中部医師会会長)浜畑宏英氏(沖縄県小児科医会副会長)安次嶺馨氏(県立中部病院元院長)城間幹子氏(那覇市長)野国昌春氏(北谷町長)はじめ著名人多数を含む1091名から「メッセージ署名」を県知事あてに提出いたしました。



県による市町村意向調査でも

「中学校卒業まで一気に進めてほしい」が多数

1月28日に行われた市町村への説明でも、「2022年度までに小学校卒業、2025年度までに中学校卒業を償還払いで無料化(現物給付へのペナルティがなくなるまで)」という県の提示したたたき台に対する「市町村意向調査」結果では「中学校卒業まで一気に拡充」が30自治体、「たたき台通りの段階的拡充」7自治体、「現状維持」2自治体、無回答が2自治体と、たたき台を超えて、中学校卒業まで一気に拡充が圧倒的多数でした。

昨年秋の自治体キャラバンでは、県は「段階的拡充」「時期は明示できない」としてきましたが、今回の要請への回答では「デニー知事の公約通りに、任期中に中学校卒業まで拡大をめざしたい」と大きく転換しました。

住民の願いが市町村を動かし、県の保険医療部も動かしつつあることを実感できました。

しかしまだ、「慎重な自治体」の説得、「財務当局との調整」という課題が残されており、実現にはまだまだ紆余曲折がありそうです。「2020年度中に最終案を確定させる」スケジュールとのこと。2020年の夏から秋が正念場となります。

県社保協としても、3月と6月議会での市町村議会での意見書採択(2021年度までに中学校卒業まで無料化実現)今回提出した「メッセージ署名」のさらなる上乗せを図り、夏には再度県庁へ提出するとともに、秋の自治体キャラバンで「慎重」な自治体への要請を強めたいと思います。

引き続き、「メッセージ署名」と「地方議会決議採択」へのご協力をお願い申し上げます。

☆3月16日(月)10時45分から「コロナウイルス対策」県庁緊急要請ができることになりました。地域や団体で実態調査されたものがあれば、ぜひ情報提供をお願いします。ご同席いただける方はご一報ください。